

場所	展示室	ゾーン	ワークシートNo.
2階	とやま・空間のたび	山地	19

巨大株に宿る次の生命たち

この木は、江戸時代に切り取られたスギの切り株です。標高1350mの立山の下ノ小平生えていたものです。ここには、冬に4mの雪が積もるので、切り株は完全にうずもれてしまいます。

他の切り株→



Q 1 切り株の上に生えている木の枝を見てみましょう。どの枝も大きくたわんで（曲がって）いますね。なぜでしょう。

- ① 枝が重いから。
- ② 冬は雪に埋もれて下向きになり、夏には上に伸びようとするから。
- ③ もともとたわむ性質をもった枝だから。

Q 2 春になって雪がとけていくときに、先に太陽の光が当たるのは、どちらでしょうか。

- ① 切り株の上
- ② 地面

Q 3 植物がたくさん（こみ合って）生えているのは、どちらですか。

- ① 切り株の上
- ② 地面

Q 4 Q3の答えのようになるのはなぜだと考えますか。

木の上のほうが